

平成25年 6月 7日

国土交通省 東北地方整備局 福島河川国道事務所

## 阿武隈川上流渇水情報連絡会幹事会の開催について

三春ダム・摺上川ダムから阿武隈川へ放流中

阿武隈川水系においては、例年より降雨量が少なく、阿武隈川流域河川の流量も減少しています。河川の流れを確保するため、6月5日（水）より三春ダム・摺上川ダムからの追加的な放流を開始しています。今後の気象状況によっては、利水者への影響が懸念されることから、下記のとおり渇水情報連絡会幹事会を開催します。引き続き国、県、阿武隈川流域の6市町、東北電力(株)等の水利使用関係者による機関相互の情報交換を行い、河川状況の監視を強めるとともに、合理的な水利用等を図って参ります。

- 開催日時 平成25年 6月10日(月) 午後2時から  
開催場所 福島河川国道事務所 3階 大会議室  
福島市黒岩字榎平36番地

- 阿武隈川上流渇水情報連絡会幹事会について

### 1) 目的

河川管理者、各利水者の関係機関が渇水時において、水利使用の状況等について情報交換を行い、円滑な水利用及び河川環境の保全を図ることを目的としています。

- 2) 構成(構成機関数:26、幹事長:福島河川国道事務所河川担当副所長 畠山 浩晃)

- 河川管理者

国土交通省(福島河川国道事務所、三春ダム管理所、摺上川ダム管理所)、福島県

- 利水関係機関等

東北農政局阿武隈土地改良調査管理事務所、福島地方气象台、福島県、関係市町村、水道事業者、東北電力株式会社福島支店 ほか

### 3) 議題

- ①阿武隈川の状況について
- ②多目的ダム(三春、摺上川、堀川ダム)の状況について
- ③農業用ダム(岳、千五沢、西郷ダムほか)の状況について
- ④気象概要と予報について
- ⑤質疑応答

※記者発表先：福島県政記者クラブ、福島市政記者会

〈問い合わせ先〉

福島市黒岩字榎平36 Tel 024-546-4331

国土交通省 東北地方整備局 福島河川国道事務所

河川管理課長 宍戸 善博 (内線331)

占用調整指導官 嶺岸由紀彦 (内線303)

## 参考資料

### 阿武隈川の状況（6月7日 午前9時現在）

|                 |                        |
|-----------------|------------------------|
| 観測所名            | 阿久津観測所（郡山市大字阿久津地内）     |
| ・5カ年平均渇水流量※1    | 20.12m <sup>3</sup> /s |
| ・基準流量※2（正常流量※3） | 13.60m <sup>3</sup> /s |
| ・現在の流量          | 21.85m <sup>3</sup> /s |

|                 |                                     |
|-----------------|-------------------------------------|
| 観測所名            | 福島観測所（福島市杉妻地内）                      |
| ・5カ年平均渇水流量※1    | 43.56m <sup>3</sup> /s              |
| ・基準流量※2（正常流量※3） | 21.30m <sup>3</sup> /s              |
| ・現在の流量          | 37.58m <sup>3</sup> /s（5カ年平均渇水流量以下） |

|                 |                                     |
|-----------------|-------------------------------------|
| 観測所名            | 館矢間観測所（宮城県伊具郡丸森町館矢間地内）              |
| ・5カ年平均渇水流量※1    | 57.87m <sup>3</sup> /s              |
| ・基準流量※2（正常流量※3） | 40.00m <sup>3</sup> /s              |
| ・現在の流量          | 47.96m <sup>3</sup> /s（5カ年平均渇水流量以下） |

#### 状況説明

水量の観測基準地点である阿久津・福島・館矢間観測所において、5カ年平均渇水流量を下回る状況が続いており、直近に発表された週間天気予報等をもみても、渇水状況を改善するほどの降雨が予想されていないことから、今後とも渇水傾向が継続すると想定される。

また、阿武隈川流域にある他の観測基準点地においても、渇水傾向が続いており、6月5日以降は三春ダム及び摺上川ダムからの補給を受けている状況である。

よって、今後も5カ年平均渇水流量を下回る事態が継続し、早期回復が見込まれないことから、阿武隈川上流渇水情報連絡会幹事会を開催するものである。

※1. 「5カ年平均渇水流量」とは、1年（毎年1月1日から12月31日）のうち355日間確実に流れている水量で、言い換えると流量の少ない順に11番目（閏年の場合は12番目）の流量の直近5カ年平均値です。

※2. 「基準流量」とは、渇水対策支部設置の基準となる流量で、福島河川国道事務所管内にある3箇所（阿久津、福島、館矢間）の基準観測地点（阿久津、福島、館矢間）では「正常流量」を基準としている。

※3. 「正常流量（流水の正常な機能を維持するために必要な流量）」とは、魚類の生息状況、河川の環境、水質等を総合的に判断し、河川の維持に必要な流量です。